

神戸市感染症発生動向調査週報

平成28年7月27日 作成

神戸市感染症情報センター

報告定点数 48 ケ所

第29週 2016年 7月 18日 ～

2016年 7月 24日

インフルエンザ

設置定点数 48 ケ所

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	～79歳	80歳～
インフルエンザ																														

小児科

報告定点数 31 ケ所

設置定点数 31 ケ所

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	20歳～
RSウイルス感染症																								
咽頭結膜熱	4	3		1				6	1	15		3		2	2	3		1	2		1	1		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	5				1	4	6	9	27			1		2	5	4	1	2	3	2	5		2
感染性胃腸炎	12	3	4	8	20	5	28	46	15	141	1	6	19	20	17	11	17	4	4	5	5	14	5	13
水痘		1					1	1		3		1					1		1					
手足口病	3	1	3		1	2	1	6	2	19			3	7	2	2	2		2			1		
伝染性紅斑		1		1			3		5	10		1			3	1		1		1	3			
突発性発疹	2						1	2	4	9		2	5	1	1									
百日咳			1							1			1											
ヘルパンギーナ	17	3	4	3	9	2	11	25	14	88	2	6	32	16	10	11	6	2	3					
流行性耳下腺炎	8	1	2	1	6	1	3	2	12	36				3	2	4	9	10	5	1	1	1		

7月に入り感染性胃腸炎の施設等での集団感染や家族内感染の報告がありました。この疾患は1～2日の潜伏期間後に下痢や嘔吐、発熱、腹痛などの症状が現れることは共通していますが、病原体は、ノロウイルス、ロタウイルス、腸管アデノウイルスや細菌（カンピロバクターやサルモネラ）と様々です。食品は十分に加熱（85℃・1分以上）しましょう。感染予防の基本は手洗いで、食事や調理の前、トイレの後など石けんと流水で15秒～30秒ていねいに洗い、手洗い後は個人のタオルかペーパータオルでふきましょう。感染した人の便や嘔吐物を処理するときは使い捨て手袋・マスク・ガウンを着用しましょう。

【参考】神戸市感染症情報紙「今どき情報&耳寄り情報」(感染性胃腸炎)

眼科

報告定点数 10 ケ所

設置定点数 10 ケ所

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	70歳～
急性出血性結膜炎																													
流行性角結膜炎	1				1					2												1			1				

(定点機関から報告されたその他の感染症情報)

東灘区○アデノウイルス感染症1例:年齢・性別不詳(6101)
東灘区○オムプス髄膜炎1例:10代女(6102)
中央区○カンピロバクター腸炎1例:0～4歳男(6301)
北 区○病原性大腸菌感染症1例:0～4歳男、5～9歳女(6505)
北 区○マイコプラズマ感染症1例:10代男(6505)
垂水区○病原性大腸菌感染症1例:年齢・性別不詳(6804)
垂水区○カンピロバクター腸炎1例:年齢・性別不詳(6804)
西 区○マイコプラズマ感染症2例:5～9歳男女(6902)
西 区○マイコプラズマ感染症4例:年齢・性別不詳(6903)
西 区○ヒトメタニューモウイルス感染症2例:0～4歳男女(6905)

【お知らせ】 バックナンバーは神戸市のホームページからご覧いただけます。

[神戸市 発生動向【検索】](#)

または、神戸市ホームページ上段のバナーを以下のとおりたどってください。

(トップページ > くらし・手続き > 健康・医療 > 感染症・予防接種 > 感染症発生動向)

【結核に関する情報】 今週の結核届出患者数は0人です。

【市内の感染症の状況】

3週連続で腸管出血性大腸菌感染症の報告がありました。
7月4日～7月23日で11名の患者が発生しています。
調理や食事前には必ず手を洗い、肉は十分に加熱し、
焼く箸と食べる箸は必ず分けましょう。

【感染症発生動向調査事業実施要綱】

<http://www.city.kobe.lg.jp/life/health/infection/trend/img/youkou110729.pdf>

※病原体サーベイランスとは、流行する感染症の病原体を詳しく調べて、その特徴や流行状況を監視するシステムです。解析結果は、「神戸市環境保健研究所における病原体分離・検出状況」をご覧ください。

神戸市感染症発生動向調査週報

神戸市感染症情報センター 2016年7月27日 作成

全数把握対象感染症発生状況 (三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	0～4歳	/	2016年7月20日	2016年7月23日	0157 (VT1VT2)	便培養法	/	不明	無症状病原体保有者

全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	0～4歳	2016年7月18日	2016年7月19日	2016年7月21日	血清型未実施	血液培養法	発熱 菌血症	不明	ワクチン接種歴あり

全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 急性脳炎)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	0～4歳	2016年7月21日	2016年7月22日	2016年7月23日	病原体不明	臨床症状	発熱、痙攣 意識障害	飛沫・飛沫核感染	

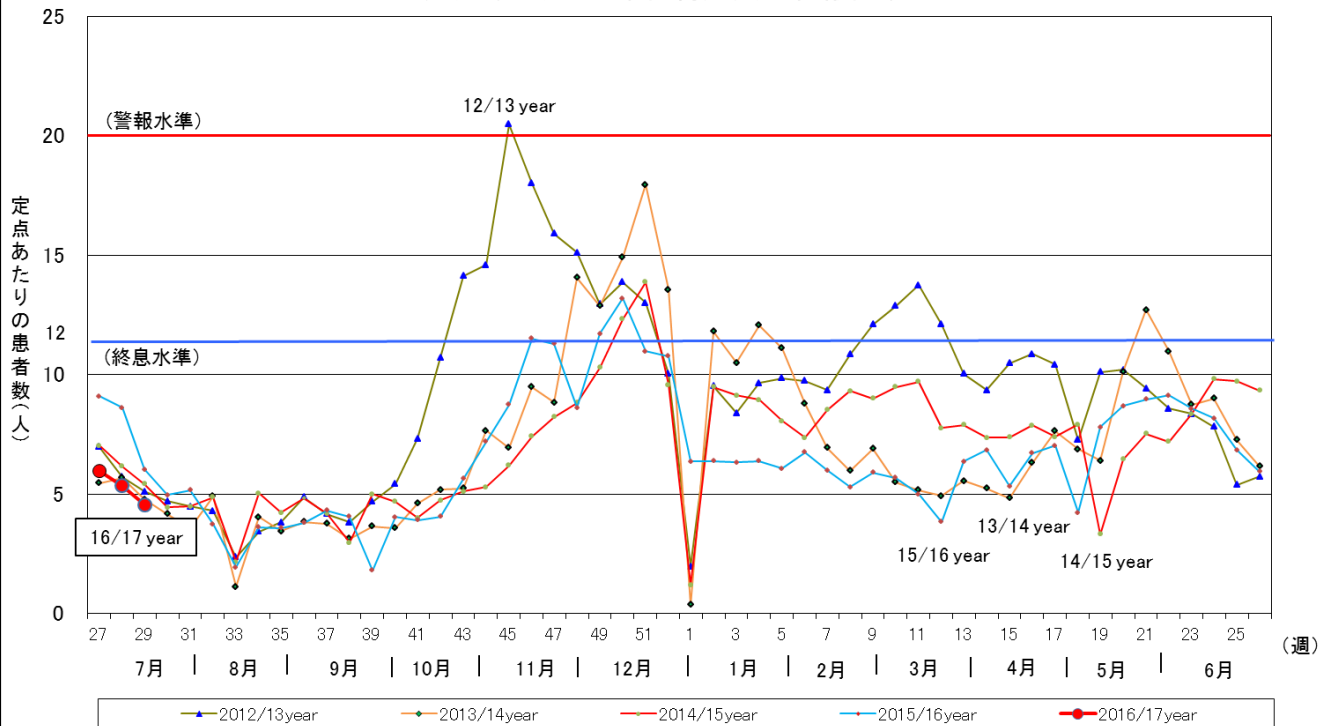
全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 梅毒)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	30代	2016年7月頃	2016年7月19日	2016年7月22日	早期顕症 梅毒Ⅰ期	PRPカードテスト、 TPHA法	硬性下疳、 鼠径部リンパ節 腫脹 (無痛性)	異性間性的接触	

神戸市環境保健研究所における病原体分離・検出状況

第29週の検出情報はありません

定点あたりの感染性胃腸炎患者報告数



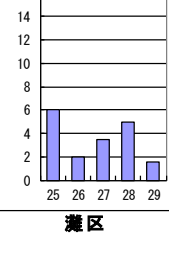
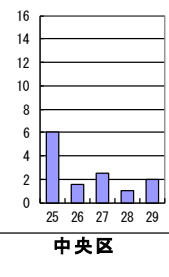
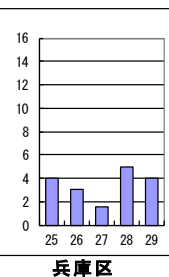
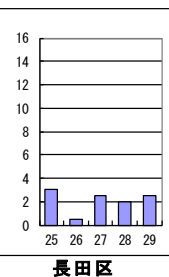
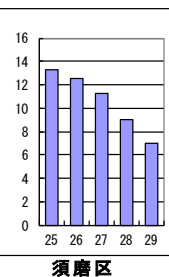
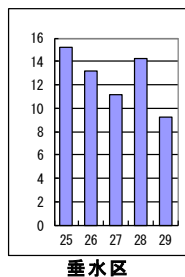
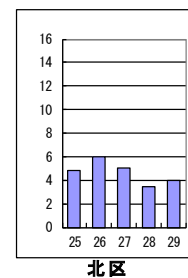
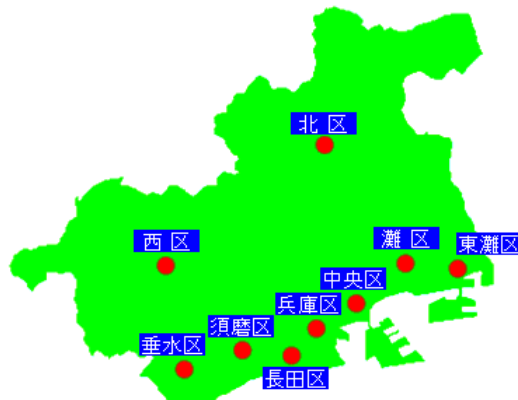
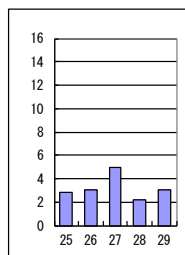
疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 25 週 平成28年6月20日

～

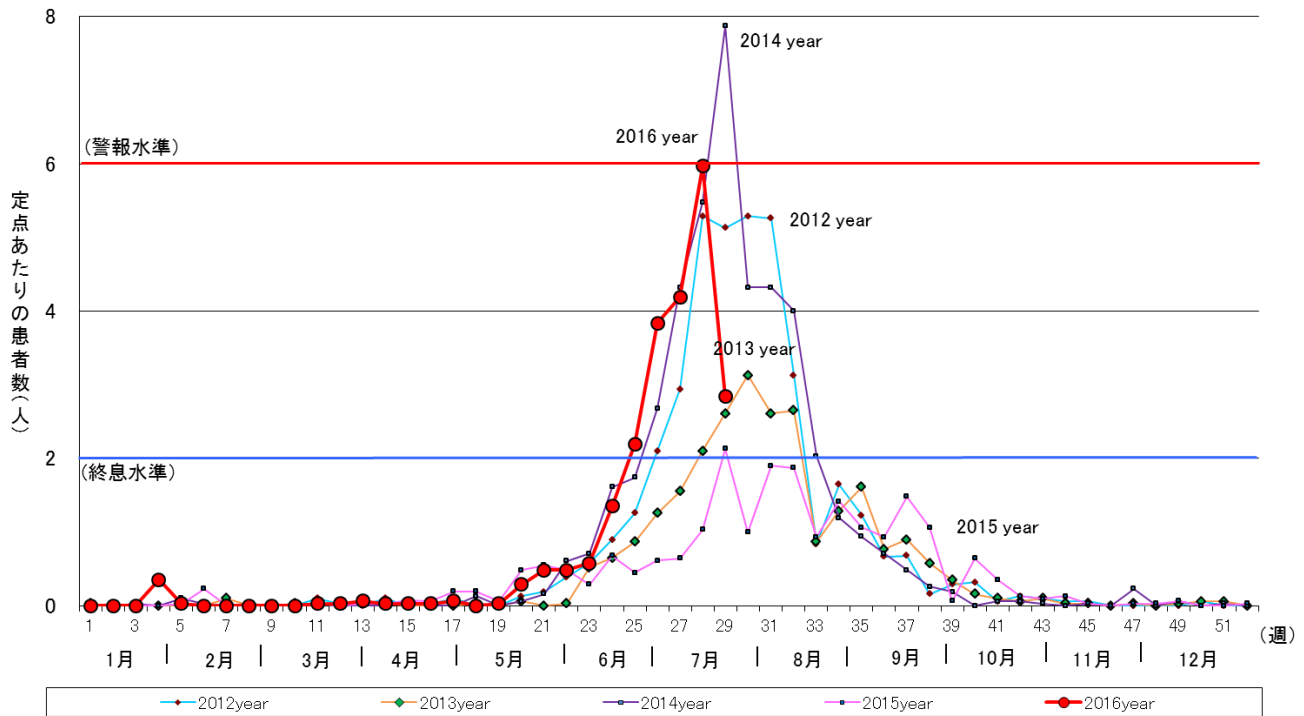
第 29 週 平成28年7月24日

感染性胃腸炎



※ このマップは、各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。ただし、区により報告医療機関数は異なるので区内の継続的な傾向を把握することはできますが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。

定点あたりのヘルパンギーナ報告数



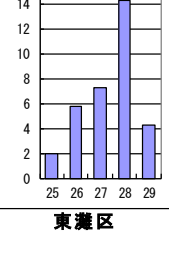
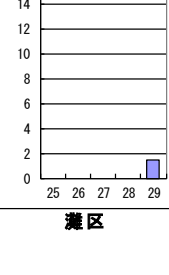
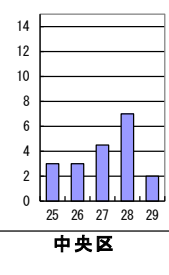
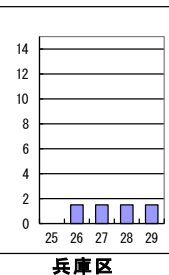
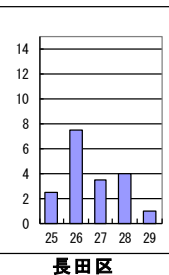
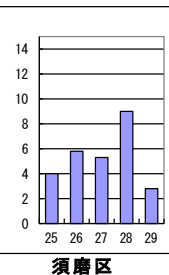
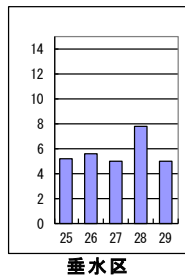
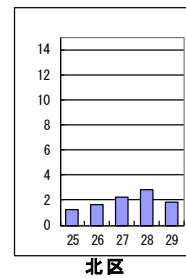
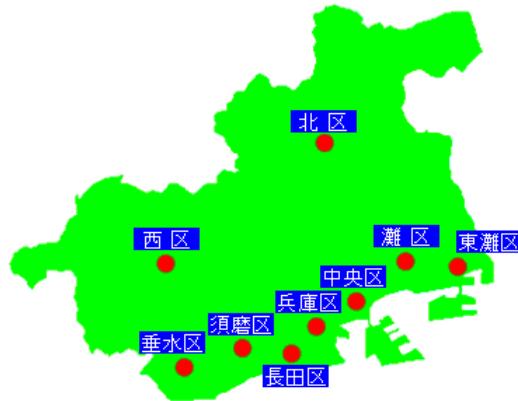
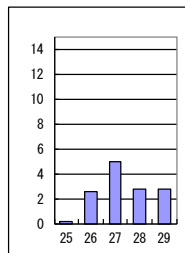
疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 25 週 平成28年6月20日

～

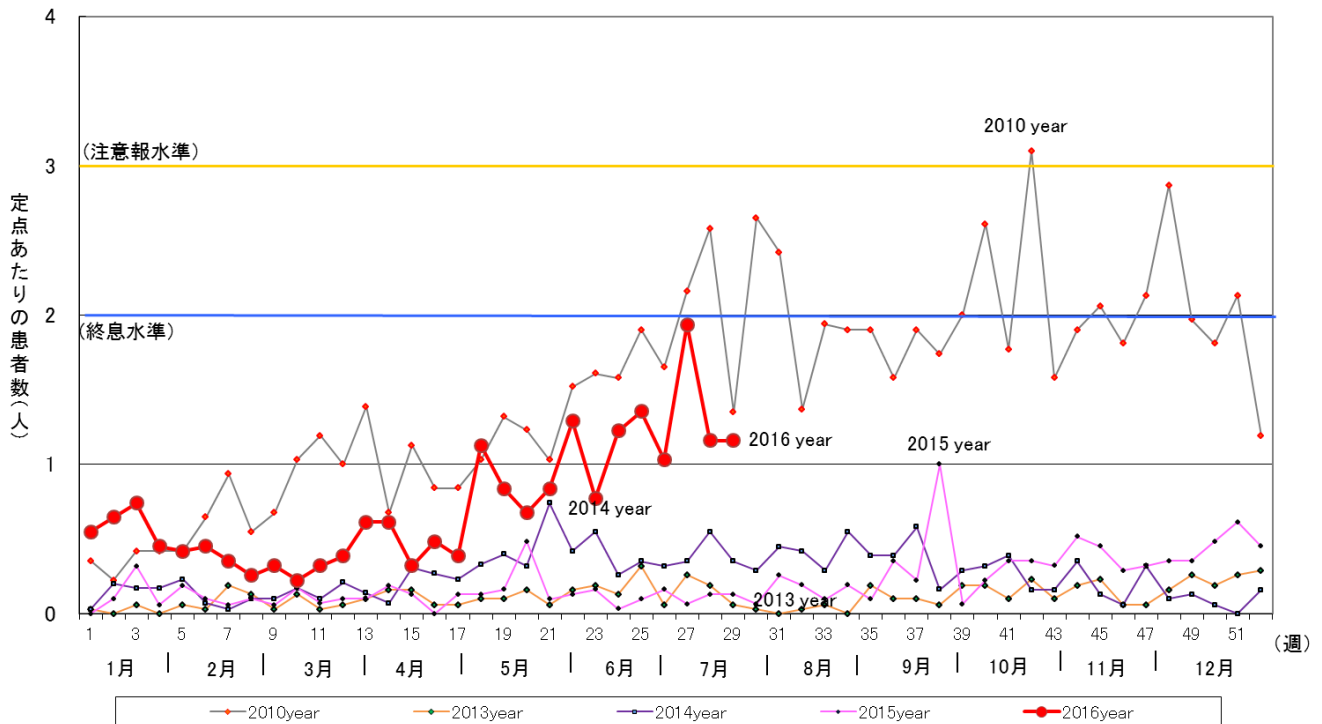
第 29 週 平成28年7月24日

ヘルパンギーナ



※ このマップは、各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。ただし、区により報告医療機関数は異なるので区内の継続的な傾向を把握することはできますが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。

定点あたりの流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)報告数



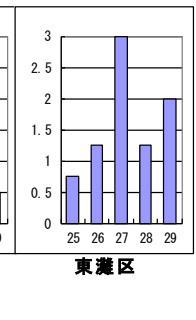
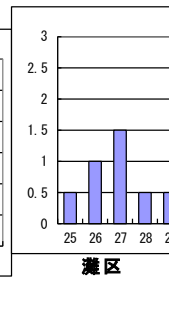
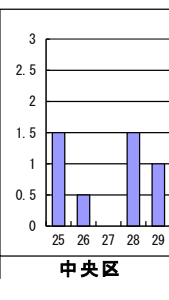
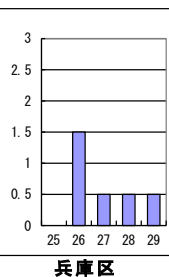
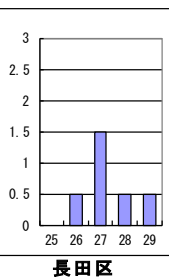
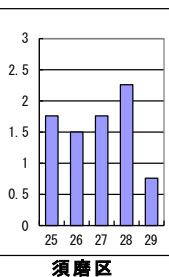
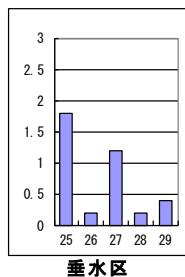
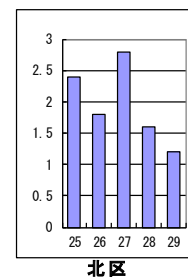
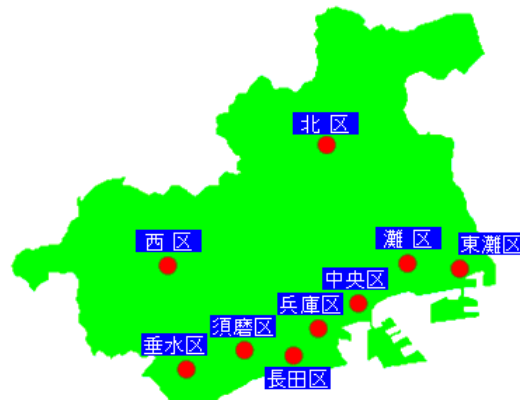
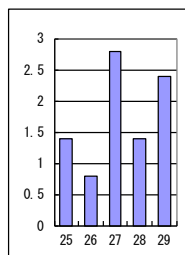
疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 25 週 平成28年6月20日

～

第 29 週 平成28年7月24日

流行性耳下腺炎



※ このマップは、各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。ただし、区により報告医療機関数は異なるので区内の継時的な傾向を把握することはできますが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。